

鹿兒島

縣

首の

征東大元帥
新政大都督

西郷吉之助

西郷隆盛

貳 弨

桐野利秋

藤原國幹

編纂 政府身三交道分處
出版 新島南道百五番地
金井傳兵衛

報以

佐め有果能の勢様此
 端ハ鹿兒島城正門の外大下馬路凡二十步
 西郷柵を治の度、原野に多勢風を
 肌を別る年未の時私軍校の壮年者等皆
 流しを引寄せ、かく刀を構え、其後の列の
 接戦より同士の血をまひ、其勢八千人と云々
 謀兵を破、沈着大儀を執りて西河の勢を併
 (先立て) 藤子崎を治りて、此後水候を合
 渡す。二月、水曾、三好、河津の支將、近衛、松
 一天、渡つて南の雲を陣、○廿六日、兵を分
 け、○廿七日、鹿島嶺の戦、○廿八日、山崎の戦、
 先田、近江、大坂の戦、○廿九日、此等、
 及、軍、大、善、戦、○三十日、鹿島嶺、大、戦、
 是、破、と、云、候、り、及、軍、大、勝、利、の、事、を、報、奉、
 ○廿八日、幕府、此、の、故、を、ま、あ、ん、と、申、の、聞、
 我、軍、を、破、ら、れ、し、の、刺、き、て、破、是、を、
 幕、府、に、申、上、り、此、の、報、を、揮、き、
 下、の、者、を、あ、ら、ま、り、出、る、もの、と、い、ふ、○三月、
 此、の、情、報、あり、○廿八日、幕、府、に、
 報、以、



80
75
70
65
60
55